

パブリックコメントの実施結果について

「松山地域学校施設整備基本計画（案）」に関する御意見の内容と市の考え（回答）について

◎実施期間 令和8年3月6日（金曜日）～3月16日（月曜日）

◎意見数 19件

項番	該当章	質問・ご意見	意見・要望の要旨	該当ページ	市の考え方（回答）
1	第5章	格技場の用途廃止は今、スポーツ少年団が使用しており存続を希望します。	格技場の用途廃止は、現在スポーツ少年団が使用しており存続を希望。	P.25	格技場は劣化状況調査において老朽化が著しく、他の教室棟に比べても健全度が著しく低い状況にあります。利用者への対応につきましては、屋内運動場の改修により、屋内運動場での対応が可能な整備を行う予定としております。
2	第6章	就学期間の割り振り4-3-2の構成により、中学校より私立を希望する生徒がいる場合、曖昧になる恐れが考えられる為、4-2-3の構成が望ましいと思う。	教育課程の構成は、（前期課程）4学年 - （中期課程）2学年 - （後期課程）3学年が望ましいのではないかと。	P.28	先行実施校の状況等も研究しながら特色ある教育環境として、中1ギャップ（小学校と中学校の境目）をなくすことを目的に教育課程を（前期課程）4学年 - （中期課程）3学年 - （後期課程）2学年とすることを含め、検討してまいります。
3	第2章	1 通学環境の安全確保について 学校統合により、地区によっては通学距離が長くなる児童生徒が増えることが想定されます。特に低学年児童の通学や、降雨時・猛暑時の通学については保護者から不安の声も聞かれます。そのため、 ・スクールバス等の通学支援の検討 ・安全な通学路の整備 ・登下校時の交通安全対策 など、子どもたちが安心して通学できる環境整備について具体的な検討をお願いしたいと考えます。	【通学環境の安全確保】 スクールバス等の通学支援、安全な通学路の整備、登下校時の交通安全対策など、子どもたちが安心して通学できる環境整備の検討。	P. 25, P. 33	松山地域学校統合準備委員会専門部会において、スクールバスの運行基準をはじめ、通学環境について検討しているところです。敷地内の歩車分離など安全対策等につきましては、関係機関と協議してまいります。
4	第4章	2 防災拠点としての学校施設の機能強化について 学校施設は災害時の避難所として地域住民にとって重要な役割を担っています。近年は豪雨災害や地震など自然災害への備えがより重要となっていることから、 ・体育館への空調設備の整備 ・非常用電源（非常用発電設備等）の確保 ・備蓄スペースの確保 ・高齢者や要配慮者にも対応できるバリアフリー設備 など、防災拠点としての機能強化についても十分な整備を検討していただきたいと考えます。	【防災機能の強化】 体育館への空調設備、非常用電源、備蓄スペース、バリアフリー設備など、防災拠点としての機能強化の検討。	P. 16, P. 20, P. 34	本校は2次開設避難所に指定されていることから、屋内運動場への空調設備やバリアフリートイレの整備を計画に盛り込んでおります。また、新校舎にはエレベーターを設置し、できる限りの段差解消に努めます。非常用電源や備蓄スペース等につきましては、市の防災部門と協議してまいります。
5	第3章	3 地域コミュニティとの連携について 学校は教育施設であると同時に、地域行事や交流活動の拠点として地域コミュニティを支える役割も担っています。学校施設整備にあたっては、 ・地域住民が利用できる多目的スペースの確保 ・地域活動や防災活動との連携 ・地域と学校が協働できる環境づくり など、地域と共に育てる学校づくりについても配慮していただきたいと考えます。	【地域コミュニティとの連携】 多目的スペースの確保や、地域活動・防災活動との連携など、地域と共に育てる学校づくりへの配慮。	P. 20, P. 21	地域住民との交流等に利用できる多目的交流室などを活用し、地域と学校が協働できる環境づくりについて、コミュニティ協議会との連携を図りながら、地域と共に育てる学校づくりを目指してまいります。
6	-	4 統合後の学校施設の活用について 学校統合により使用されなくなる既存の学校施設については、地域にとって大切な資産でもあります。これまで学校が地域コミュニティの中心的役割を担ってきたことを踏まえ、統合後の施設については、 ・地域活動の拠点施設 ・防災拠点 ・地域交流施設 などとして活用することも含め、地域住民の意見を十分に踏まえながら検討していただくことを要望いたします。	【統合後の学校施設の活用】 使用されなくなる既存施設について、地域活動や防災拠点等としての活用を含め、地域住民の意見を踏まえた検討の要望。	P. 3	学校統合後の跡地利用につきましては、本計画とは別に、学校跡地等利活用検討委員会を設置し、地域住民の意見を踏まえた利活用について現在検討が行われております。

項番	該当章	質問・ご意見	意見・要望の要旨	該当ページ	市の考え方（回答）
7	-	5 地域住民への丁寧な説明と意見交換の機会について 学校統合や施設整備は地域にとって大きな変化となることから、今後の具体的な整備計画の検討にあたっては、地域住民や保護者に対する説明会の開催や意見交換の機会を継続的に設けていただくことを要望いたします。	【地域住民への丁寧な説明】 今後の整備計画検討にあたり、地域住民や保護者に対する説明会や意見交換の機会の継続的な開催。	P. 43	広報誌やホームページ等においても周知を図るとともに、地域住民や保護者を対象にした説明会等も随時行ってまいります。
8	第1章	P11 床面積を児童数の減少も踏まえて考えることで、無駄のない校舎作りができればと思います。	【施設規模】 床面積を児童数の減少も踏まえて考えることで、無駄のない校舎作りができればと思った。	P. 11	将来的な児童生徒数の減少を見据え、将来の維持管理コストを抑えるため、必要最小限の機能に絞った無駄のないコンパクトな校舎づくり（約4,000㎡程度を想定）を進めてまいります。
9	第2章	P17 学校整備の基本的方向 現在ある校舎も生かしながら、新校舎も建築するのはとてもよい考えだと思います。素人なので分からないが、改修工事と新築と予算的にはどちらが安いのか知りたい。	【整備手法とコスト】 既存校舎を生かしながら新校舎も建築するのはよい考え。素人なので分からないが、改修工事と新築とでは予算的にどちらが安いのか知りたい。	P. 17	一般的に、既存の建物の骨組みを生かす「大規模改修」の方が、全て建て直す「全面新築」よりもコストを抑えることができます。本計画では、昨今の著しい建設資材の高騰を踏まえ、整備コスト削減効果が最も高い「既存施設の大規模改修と、不足分のみを補う新設校舎のハイブリッド型」として進めてまいります。
10	第3章	P21 「次世代の学校」「柔軟なカリキュラム」聞こえはともいいが、具体的には何をどうするのか、検討する視点を明確にもって検討しなければ、具現化するのとても難しいと思う。	【理念の具現化】 「次世代の学校」「柔軟なカリキュラム」は聞こえはよいが、何をどうするのか具体的な視点をもちて検討しなければ具現化は難しいと思う。	P. 21	基本理念の具現化は、施設整備を含め、非常に大きな課題だと認識しており、現在、松山地域学校統合準備委員会専門部会において、検討を行っております。引き続き、学校、保護者、地域の皆様方の考えや思いを取り入れながら皆様方と一緒に丁寧に検討を進め、松山地域の特性を生かした基本理念及び基本計画の実現に取り組んでまいります。
11	-	現地をはっきりと見て回ったわけではないのでこの資料だけでは判断しかねます。現場をよく知る方々にお任せいたします。	-	-	本計画の策定に当たりましては、高低差などの敷地の特性や既存校舎の老朽化の状況などを専門的な見地から詳細に調査し、児童生徒の防犯・安全確保を優先とした施設配置を検討しております。今後も、現場の状況を熟知する学校関係者や専門家の知見をしっかりと踏まえ、子どもたちにとって最適で安全な教育環境の整備を責任を持って進めてまいります。
12	第1章	1 「8ページのプール付属屋（9号棟）について」 建設年度が古く、屋外であるため、再建設又は修繕をするという考え方でよろしいか。	【プール付属屋（9号棟）】 建設年度が古く屋外であるため、再建設又は修繕をするという考え方でよいか。	P. 8, P. 33	現在の計画案におきましては既存プールを活用する想定としておりますので、付属棟につきましても大規模な改修は行わず、長寿命化の観点から必要最低限の修繕に留めて活用することを基本としております。
13	第1章	2 「8ページの倉庫（11号棟）について」 建設年度が古く、今後の予定では25頁の配置案から用途廃止という考え方でよろしいか。現在、部活動（野球）で使用道具などの保管場所として利用している。	【倉庫（11号棟）】 配置案から用途廃止という考え方でよいか。現在部活動（野球）の道具保管場所として利用している。	P. 8, P. 25	倉庫（11号棟）につきましては、現在の基本計画案において直ちに用途廃止とする計画とはしておりません。既存施設として引き続き活用する方向ですが、今後の部活動の地域展開等の動向も踏まえ、統合後の適切な用具保管場所の確保につきましては、学校や関係者と協議してまいります。
14	第6章	3 「9ページの屋外便所（3号棟横）について」 今後の予定では25頁の配置案から用途廃止という考え方でよろしいか。現在、利用が極端に少なく利用が見られない。	【屋外便所（3号棟横）】 配置案から用途廃止という考え方でよいか。現在利用が極端に少ない。	P. 9, P. 33	特別教室棟（3号棟）横の屋外便所につきましては、現在の利用状況や老朽化の進行を踏まえ、本計画案（P.33）において「用途廃止」とする方針をお示ししております。

項番	該当章	質問・ご意見	意見・要望の要旨	該当ページ	市の考え方（回答）
15	第2章、第6章	4 「16ページの21行目（屋内運動場への空調設備を～）について」 屋内運動場の空調設備の設置については是非、前向きに検討いただきたい。22行目からの格技棟（6号棟）の用途廃止については、4頁の劣化状況評価からも健全度が低く妥当だと考えます。ただし、現在、青雲館の剣道クラブが夜間利用をしているため、利用方法や時期について双方の相談等が今後必要だと考えます。	【屋内運動場空調・格技棟（6号棟）】 空調設置は是非前向きに検討を。格技棟の用途廃止は妥当と考えるが、剣道クラブの夜間利用があるため今後の相談が必要。	P. 16, P. 33	屋内運動場への空調設備の設置につきましては、防災機能の強化及び良好な教育環境確保のため、設置する方向で計画を進めております。また、格技場（6号棟）の用途廃止に伴う現在の社会体育等での利用者への対応につきましては、屋内運動場の改修により、屋内運動場での対応が可能な整備を行う予定としております。
16	第5章	5 「25ページの配置計画（案）⑤について」 自転車置き場の新たな設置場所を今後、御検討いただきたい。	【自転車置き場】 新たな設置場所を今後検討いただきたい。	P. 25	自転車置き場の移設場所につきましては、本計画案（P. 25）において「屋内運動場（4号棟）周辺」又は「用途廃止となる格技場（6号棟）跡」を候補地としております。今後、児童生徒の安全な動線（歩車分離）の徹底や雨天時の利便性に配慮し、基本・実施設計の中で最適な配置場所を計画してまいります。
17	第6章	6 「31ページの㊸サーバー室について」 どの程度の広さなのか、どのくらいの電力量が必要なのか想像できないため、案の段階で結構ですので教えていただきたい。	【サーバー室（㊸）】 どの程度の広さ、電力量が必要か案の段階で教えていただきたい。	P. 31	サーバー室の具体的な面積や必要電力量につきましては、義務教育学校としてのICT環境（校内ネットワーク機器の集約等）を詳細に整理した上で、今後、基本・実施設計の中で計画してまいります。受電設備においても現在の容量から改修工事を行うことで必要な電力を確保する方針としております。
18	第6章	7 「35ページの イ 機械設備（1）空調設備について」 示されているように、居室ごとに制御し、運転状況を職員室で確認できるものであると大変ありがたい。	【空調設備】 居室ごとに制御し、運転状況を職員室で確認できると大変ありがたい。	P. 35	本計画案（P. 35）にお示しのとおり、省エネルギーの推進と適切な学習環境の維持、さらには教職員の管理負担軽減を図るため、居室ごとの個別制御及び職員室での集中監視・制御が可能な空調システムの導入の検討を進めてまいります。
19	第3章	p20 義務教育学校に求められる機能 小中一貫となるにあたり、教室の配置について、慎重に検討が必要だと思います。 一緒の校舎で、同じ階に配置したり、また違う校舎や違う階でも、交流などが日々できるような配置も良いと思います。 前期課程と後期課程の生徒達との交流を日頃から出来る環境が大切だと思います。 異学年の人間関係を教職員間での情報の共有や教育指導方針なども大切だと思います。 年齢差がある1年生から9年生まで、同じ学校で生活していくのは、コミュニケーションや交流の機会を多くもつことは、大事だと思います。	【教室配置と異学年交流】 義務教育学校となるにあたり、教室の配置について慎重な検討が必要。前期・後期の生徒が日頃から交流できる環境や、教職員間での情報共有・指導方針の共有が大切。	P. 20	基本計画（案）におきましても、9年間の学びを支える異学年交流は非常に重要であると位置づけております。施設整備におきましても、発達段階に応じた適切な教室配置を行い、教職員につきましても、児童生徒の特徴や個性にあわせた継続的な指導を実現するため、教職員間の情報共有やコミュニケーションの充実を図る執務空間の整備に配慮します。 義務教育学校の特性を生かし、児童生徒の個性に合わせた教育環境の整備を行いたいと考えております。